

【復習】1変数関数の極値の判定

定理 1.

- (i) 「 $f(x)$ が $x = a$ で極値をとる」 $\implies f'(a) = 0$
(ii) $f'(a) = 0$ かつ $\begin{cases} f''(a) < 0 \implies f(a) \text{ は極大値} \\ f''(a) > 0 \implies f(a) \text{ は極小値} \end{cases}$

関数 $f(x)$ の極値を求める手順

- 導関数 $f'(x)$ を計算し、 $f'(x) = 0$ を満たす x を求める.
- 2次導関数 $f''(x)$ を計算し、(1) の $x = a$ に対して、 $f''(a)$ の符号を調べる;
 $f''(a) < 0$ ならば極大、 $f''(a) > 0$ ならば極小、 $f''(a) = 0$ ならば?
- 極値 $f(a)$ を求める.

問 $f'(a) = 0$ かつ $f''(a) = 0$ のときは?

【参考】1変数関数の極値の判定

定理.

- $f'(a) = f''(a) = \dots = f^{(2m-1)}(a) = 0$
かつ $\begin{cases} f^{(2m)}(a) < 0 \implies f(a) \text{ は極大値} \\ f^{(2m)}(a) > 0 \implies f(a) \text{ は極小値} \end{cases}$
- $f'(a) = f''(a) = \dots = f^{(2m)}(a) = 0$
かつ $f^{(2m+1)}(a) \neq 0 \implies f(a)$ は極値ではない

例 $f(x) = x^4$ は、 $f'(x) = 4x^3$, $f''(x) = 12x^2$, $f'''(x) = 24x$, $f^{(4)}(x) = 24$ より、
 $f'(0) = f''(0) = f'''(0) = 0$, $f^{(4)} = 24 > 0$ であるから、 $f(0)$ は極小値.

例 $f(x) = x^3$ は、 $f'(x) = 3x^2$, $f''(x) = 6x$, $f'''(x) = 6$ より、
 $f'(0) = f''(0) = 0$, $f'''(0) = 6 \neq 0$ であるから、 $f(0)$ は極値ではない.

【復習】2変数関数の極値の判定

定理 2.

[I] 「 $f(x, y)$ が点 (a, b) で極値をとる」 $\implies f_x(a, b) = 0$ かつ $f_y(a, b) = 0$

[II] $D(x, y) := \{f_{xy}(x, y)\}^2 - f_{xx}(x, y)f_{yy}(x, y)$ とおく.

$f_x(a, b) = f_y(a, b) = 0$ かつ

- $D(a, b) < 0$ かつ $\begin{cases} f_{xx}(a, b) < 0 \implies f(a, b) \text{ は極大値} \\ f_{xx}(a, b) > 0 \implies f(a, b) \text{ は極小値} \end{cases}$
- $D(a, b) > 0$ のとき、 $f(a, b)$ は極値ではない.
- $D(a, b) = 0$ のとき、 $f(a, b)$ が極値となるときも、そうならないときもある.

2変数関数 $f(x, y)$ の極値を求める手順

(ステップ1) 偏導関数 $f_x(x, y)$, $f_y(x, y)$ を計算し、連立方程式

$$\begin{cases} f_x(x, y) = 0 \\ f_y(x, y) = 0 \end{cases}$$

の解を求める.

(ステップ2) 2次偏導関数 $f_{xx}(x, y)$, $f_{xy}(x, y)$, $f_{yy}(x, y)$, および

$$D(x, y) = \{f_{xy}(x, y)\}^2 - f_{xx}(x, y)f_{yy}(x, y)$$

を計算する.

(ステップ3) (1) の解 $(x, y) = (a, b)$ に対し、 $D(a, b)$ と $f_{xx}(a, b)$ の符号を調べる.

(ステップ4) 極値 $f(a, b)$ を求める.